

令和8年9月定例会 一般質問発言通告一覧

令和8年10月5日

【一般質問】

令和8年10月5日（月）午前9時30分から（発言者6人）		
順	質 問 者	質 問 事 項
1	高 橋 輝 （創政会）	財政 ○ 綾部市の財政状況について ・ 過去の財政状況と比較して現在の財政状況（令和7年度の決算状況）をどう分析するか ○ 行財政健全化の取組について ・ 第7次行財政健全化の取組実績は ・ 公共施設マネジメントの取組実績は ○ 今後5年間の財政見通しについて ・ 財源不足の状況と財政調整基金の見通しは ○ 第8次行財政健全化の取組の必要性和取組内容について ・ 今後5年間の削減目標は ・ 歳入確保と歳出削減の見通しは 病院 ○ 市立病院の経営状況について ・ 病院事業会計の決算について ・ 病院経営の評価について ・ 今後の病院経営について

2	吉 崎 篤 子 (日本共産党)	物価高騰対策 ○ 水道基本料金の減免について ・ 中東情勢と原油高などに伴う更なる物価高騰により市民の暮らしに影響があると考えるが認識は ・ 6月定例会で「水道基本料を減免しない」との答弁があったが幅広い物価高騰対策として再度の検討は ○ 農業者への直接支援について ・ がんばろう！農業生産緊急サポート事業の進捗状況は ・ 資材等高騰の上に低米価による綾部市の農業者への影響は ・ 農業者が農業を継続できる緊急支援を ○ 個人事業者への直接支援について ・ 材料、包装資材等価格高騰による個人事業者への影響は ・ 地域に密着した個人事業者の役割についての見解は ・ 個人事業者への直接支援の考えは 高齢者 ○ 加齢性難聴の補聴器購入補助制度の創設について ・ 加齢性難聴による生活への影響は ・ 「耳のこと相談」における補聴器の必要性の割合は ・ 6月定例会で答弁された「他市の調査研究や体制整備の検討」について、その進捗状況は ・ 加齢性難聴の補聴器購入補助制度の早期実現の考えは
3	中 島 祐 子 (みらいのあやべ)	選挙 ○ 投票率の向上に向けた更なる取組について ・ 今回の市議会議員選挙の投票状況は ・ 移動手段がないことや病気等で投票に行きにくい方のための対策は ・ 若い世代や現役世代の投票率を高めるため、期日前投票所や共通投票所の設置は ・ 電子投票導入の検討は 上水道 ○ 上水道の災害対策について ・ 施設の耐震化の現状は ・ 更なる耐震化の向上への取組は ・ 浸水により想定される被害は ・ 地震や浸水による断水への備えは ・ 「災害時地下水利用ガイドライン」とは ・ 災害用井戸・湧水の登録制度の導入は

4	後藤 光 (創政会)	社会教育 ○ 綾部市図書館開館時間の延長について ・ 利用状況について ・ 他市の状況は ・ 開館時間延長するための課題は ・ ニーズとコストを調整した効率的な空間活用の検討を 農林 ○ 有害鳥獣対策について ・ 近年の農作物の被害状況と有害捕獲状況は ・ 侵入防止柵破損時の補修の補助は ・ 猟友会の現状は ・ ジビエ処理された頭数は ・ 捕獲隊員の確保について綾部市の考えは
5	横山 浩三 (民政会)	保育 ○ 綾部市における今後の保育環境について ・ 園児数の推移や見通しを市としてどのように把握しているのか。また、今後の保育需要について、どのように推移すると考えているか ・ 市と民間保育施設が定期的に情報交換を行い、地域の保育環境について課題を共有するとともに、必要な支援を早期に検討する仕組みはあるか ・ 運営の継続が困難となる可能性が生じた場合に、市としてどのような支援や対応を行うことができるのか。また、現時点でそうした場合に備えた仕組みがあるのか 学校 ○ 子どもの通学支援について ・ 「教育環境日本一」を掲げる本市において、「選ばれる学校づくり」をどのように具現化していくのか ・ 本市が掲げる「教育環境日本一」や「選ばれる学校づくり」において、子どもたちの通学環境をどのように位置付けているか ・ 地域によっては保護者による日常的な送迎負担があると聞いているが、市としてどの程度認識しているのか ・ 公共交通であるあやバスのダイヤ改正が行われると聞いているが、通学への利便性は向上するのか

6	小 松 秀 紀 (日本共産党)	経済 ○ 建設産業振興について ・ 建設従事者の担い手確保についての問題意識は ・ 2025年12月改正の担い手3法を綾部市で官民間わず実行力を持たせるためには ・ 賃金条項の入った公契約条例制定の考えは ・ 長引く資材高騰の市内建設事業者の状況と見通しは ・ 地元事業者の仕事おこし、賃金単価確保のための住宅リフォーム助成制度の創設を 公共交通 ○ 中学生のあやバスでの登下校について ・ 篠田桜が丘線（綾部中）における登下校について ・ 上林線（東綾中・上林中）における登下校について
---	--------------------	---

【一般質問】

令和８年１０月６日（火）午前９時３０分から（発言者５人）			
順	質 問 者	質 問 事 項	
7	藤 岡 栄 (創政会)	総合計画 ○ 総合計画の目標指標について ・ 後期基本計画に配慮及び力を入れた点は ・ 目標指標の見直し（追加、修正、削除）等の可能性は ○ U I ターンについて ・ U I ターン者の過去５年間の起業件数及びその取組内容、具体的支援策は ○ 大学等の地域活性化の取組について ・ 大学等の取組への支援策及びその成果は ○ ふるさと納税等について ・ ふるさと納税及びあやべ特別市民の返礼品等の件数（品目）の過去５年間の推移、ふるさと納税の寄附金額の過去５年間の推移は。また、返礼品等の開発に係る生産者への支援策は ・ 寄附額の使い道は ○ 企業誘致について ・ 綾部工業団地の立地状況は ・ 目指すべき雇用者数及び定住人口数は ・ 新たな産業用地の確保及び誘致企業の絞込み、トップセールスの実施等、次の段階の企業誘致戦略は ・ 北部産業創造センターの企業誘致に果たす役割及び活用実績は ○ 住宅地開発について ・ 人口減少期における住宅地開発の考え方は ・ 職住近接や都市機能整備との関係は 福祉 ○ 高齢者の健康・生きがいくりにについて ・ 地区別の高齢化率は ・ 健康・生きがいくり事業の過去３年間の決算額は ・ 清山荘などの拠点における健康・生きがいくりの取組内容及び利用状況は ・ 健康・生きがいくりの新たな拠点整備（公民館や空き家の活用含む。）の予定は。また、代替支援策は	

8	酒 井 裕 史 (民政会)	伝統産業 ○ 黒谷和紙拠点施設について ・ 拠点施設整備の現状について ・ 今後のスケジュールについて ・ 工事期間中の交通対応について ・ 整備後のソフト事業の予定について 教育 ○ 教育環境日本一を目指す取組について ・ 教育環境日本一の学びの手応えについて ・ 東八田小学校の遠隔交流学习の実施経過と今後の展望について ・ 自治体教創コンソーシアムの実施内容について
9	神 田 一 之 (創政会)	農業 ○ 担い手の経営実態の把握について ・ 認定農業者、小規模農家の経営収支や、農業外収入がなければ経費を賄えない実態について市の把握は ・ 農林業センサスでは見えにくい経営実態を、J Aの販売データ等を活用し、市が主導して把握する考えは ○ 地域計画と10年後の農地の姿について ・ 10年後を見据えた農地維持・集約の市全体の将来像は ○ 担い手不足の構造的な要因について ・ 定年延長や雇用形態の変化によるUターン就農、定年帰農の減少を把握し、市として今後どう取り組むのか ○ 小規模・非認定農家の位置付けについて ・ 経営耕地面積1ha未満の農家が約6割を占める中、こうした小規模農家の位置付けと今後の支援策は ○ 省力化・スマート農業について ・ リモコン草刈機等の普及方針と、個人導入が難しい農家も利用できる共同利用・受委託の仕組みを市として検討できないか ○ 中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金の運用実態について ・ 中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金について、交付額が減少している要因と今後の打開策は ○ 企業等の新規参入と農工業ベンチャーについて ・ 企業等の農業参入について、市が紹介・誘致の情報を共有し、連携する体制は

10	柳 原 秀 一 (創政会)	防災 ○ 木造住宅の耐震化について ・ 住宅の耐震化率は ・ 木造住宅耐震改修補助の活用状況は ・ 住宅耐震化の向上に向け更なる施策の拡充を ・ 耐震化重点エリア指定は 高齢者支援 ○ 西部（物部町）高齢者施設の整備見送りと今後の高齢者福祉施策について ・ 松寿苑による西部地域での施設整備に対する市の認識は ・ 建設予定地について市はどのように関わっていくのか ・ 西部地域の高齢者人口等の状況は、要望当時と現在でどのように推移しているか ・ 整備内容の見直しや他法人への働きかけなどを検討し、今後の方向性を示す考えは ・ 西部地域の高齢者福祉を第11次綾部市高齢者保健福祉計画にどのように位置付けるのか
11	藤 岡 康 治 (民政会)	産業 ○ 新たな産業用地整備について ・ 現在の工業団地の分譲状況は ・ 新規企業を受け入れられる土地の余力はどの程度あるか ・ 市民からの土地活用相談や、企業からの需要はあるか ・ 北部物流拠点整備への即応体制と用地確保は ・ 将来の税収と雇用を生む産業用地整備について 下水道 ○ 下水道整備の今後の在り方について ・ 下水道整備区域の接続率及び今後の整備計画は ・ 今後の整備費及び施設の維持管理費を含めた長期的な財政負担の見込みは ・ 人口密度の低い地域について、下水道整備方針を見直す考えは ・ 人口減少時代における綾部市の汚水処理の将来像は

【一般質問】

令和8年10月7日（水）午前9時30分から（発言者5人）			
順	質 問 者	質 問 事 項	
12	塚 崎 泰 史 （日本共産党）	教育・子育て ○ 中学校給食の無償化について ・ 中学校給食の無償化を求める保護者の声と、小学校給食の無償化後に残る中学校の保護者負担をどう受け止め、今後どう対応するか ・ 令和9年度に向けた中学校給食費の無償化・負担軽減の進め方と課題についての考えは 学校教育 ○ 学校教材・学用品の保護者負担軽減について ・ 文部科学省の令和8年7月17日付事務連絡を受け、教育委員会は各学校にどのような周知や対応を行ったか ・ 学校ごとの教材・学用品の保護者負担額と備品化の状況、学校間の違いにどう対応するか ・ 令和9年度に向け、教材・学用品の共有化、備品化、貸与等をどう進めるか。実施に当たっての課題は 環境 ○ P F A S実証技術と汚染状況の把握について ・ P F A Sの濃度低減に関する実証技術について、現場での活用の見通しと課題は ・ 実証期間中の処理前の水（原水）の測定結果をどう把握し、濃度の変動をどう評価しているか ・ 汚染の原因及び流出経路の把握について、市の認識と対応は	
13	足 立 輝 希 （創政会）	広報 ○ 市役所のデジタル情報発信について ・ 現在どのような情報発信を行っているか。また、それぞれの利用状況をどのように把握しているか ・ 発信する情報や頻度にばらつきが見られるが、市としてどのように課題を認識し、改善に取り組んでいるか ・ インスタグラムを新たな情報発信媒体として活用する考えはあるか ふるさと納税 ○ ふるさと納税の更なる活用について ・ ふるさと納税の実績と増減要因をどのように分析しているか ・ サービス・体験型返礼品を充実させ、市内への来訪や消費につなげる考えは ・ ふるさと納税と綾部の魅力を連携させ、継続的な関係人口の創出につなげる考えは	

14	渡 辺 小百合 (公明党)	災害 ○ トイレトラックの災害派遣について ・ 災害派遣に至った経緯は ・ 現地での運用状況は ・ 現地からの評価及び災害派遣を通じて得られた本市の成果と課題は 防災 ○ 災害時の人的受援体制について ・ 人的受援計画の策定状況と完成までの暫定対応をどう考えているか ・ 災害業務ごとの必要人数と不足人数を算出する仕組みは ・ 人的応援要請の判断責任者、判断基準は明確になっているか ・ 応援職員が直ちに稼働できる受入環境をどう考えているか ・ これまでの災害派遣の教訓を受援計画へどう反映させるのか ・ 策定後の受援訓練の実施を行うべきと考えるが、市の見解は 道路 ○ 狭あい道路解消の推進について ・ 狭あい道路の現状認識は ・ 建築基準法第42条第2項のセットバックに対する助成制度や寄附受入要綱を整備する考えは ・ 土地家屋調査士会など関係専門団体との連携スキームの構築を ・ 国の交付金の活用による狭あい道路の解消を
15	片 岡 英 晃 (創政会)	機構改革 ○ 機構改革と人材確保について ・ 市長が目指す組織像は ・ 来春以降の機構改革についての考えは ・ 新規採用の状況は ・ 地域おこし協力隊の増員は 公共交通 ○ 公共交通の在り方について ・ 近年の各公共交通機関の利用実績は ・ 夜間の移動手段確保に向けた取組状況は ・ ラストワンマイル対策としての地域内交通の充実に向けての取組は ・ 議会からの提言に対する検討状況は ・ 誰もが安心して移動できる体制の整備に向けた今後の展望は 観光 ○ 東部地域の観光振興について ・ 近年の観光入り込み客数等の状況は ・ 東部地域での魅力再発見の取組を ・ あやべ温泉の収支状況等の推移は ・ 宿泊機能の再開に向けた状況は

16	松 本 幸 子 (民政会)	子育て施策 ○ 少子化対策について ・ 子どもの出生数が減少している原因をどう捉えているか ・ 保育料の階層区分が細分化されたがその結果は ・ 保育料は更に軽減されるのか ○ 綾部市におけるこども性暴力防止法について ・ 法の周知と市としての受け止めはどうか ・ 保育所等や学校の対応はどうか ・ 「日本版DBS」の仕組みはどのようなものか ・ 民間の学習塾や習い事へのサポートの考えは 環境 ○ 太陽光発電施設について ・ 市中に設置されることへの市民からの苦情やご意見は届いているか ・ 京都府下での条例制定の現状と内容は ・ 綾部市独自の条例制定が必要では
----	------------------	--